

第9回全国高校生トライアスロン大会

【最終要項】

＜開催日：2007年9月15日（土）＞



【大会概要】

大会名称 第9回全国高校生トライアスロン大会
主催 (社)日本トライアスロン連合
主管 (社)東京都トライアスロン連合
後援 日刊スポーツ新聞社他
特別協賛 キョーリン
協賛 大塚製薬 デサント
開催日時 2007年9月15日（土） 9:00受付 10:15スタート予定
大会会場 国営昭和記念公園内レインボープール及び園内特設コース
競技部門 個人の部・リレーの部
募集人数 個人の部(150人)・リレーの部(100組)
競技距離 スイム750m/バイク20km/ラン5km
(リレーの部は3人1チーム、1人1種目)
参加資格 高校1～3年生の男女
表彰予定 個人の部 男子・女子各1～3位
リレーの部 1～3位
大会事務局 〒188-0013
東京都西東京市向台町2-14-37 A&A西東京スポーツセンター内
「全国高校生トライアスロン大会事務局」
TEL:042-468-3513 FAX:042-468-3549
E-mail:info@teamkens.co.jp URL:http://www.jtu.or.jp

競技に関するお問い合わせ:「日本トライアスロン連合」 03-5469-5401

大会当日限定問い合わせ先:090-1764-5366

【併催】

- ・アミノバリューチームケンズカップトライアスロン大会
- ・立川市民トライアスロン大会
- ・西東京市総合体育大会トライアスロンの部

【スケジュール】

※1 競技説明会:スィム会場レインボープール中ノ島にて行います。受付・バイクセット後、必ず参加してください。

※2 入水チェック後、ウォーミングアップは指定の場所で行ってください。

項目	開始時刻	終了時刻	招集時刻	※2入水チェック ウォーミングアップ	
				開始時刻	終了時刻
受付	8:30	10:00			
開門	9:00				
バイクセット	9:00	10:00			
高校生大会競技説明会※1	9:40	9:50			
高校生大会開会式	10:05	10:10			
第1ウェーブ高校男子・リレー	10:15		10:00	9:50	10:00
第2ウェーブ高校女子	10:17		10:00	9:50	10:00
ケンスカップ開会式・競技説明	10:35	10:40			
第3ウェーブケンスカップ個人	10:45		10:25	10:25	10:35
第4ウェーブケンスカップ個人	11:00		10:45	10:45	10:55
第5ウェーブケンスカップ個人	11:15		11:00	11:00	11:10
第6ウェーブケンスカップ個人	11:30		11:15	11:15	11:25
第7ウェーブケンスカップ個人	11:45		11:30	11:30	11:40
第8ウェーブケンスカップ個人	12:00		11:45	11:45	11:55
第9ウェーブケンスカップ個人	12:15		12:00	12:00	12:10
第10ウェーブケンスカップ個人・リレー	12:30		12:15	12:15	12:25
高校生大会表彰式	13:00				
アミノバリューケンスカップ表彰式	14:45				

【注意事項】

＜受付＞ ●選手登録時には、要項をお送りした封筒をご提示ください。

●ボディナンバリングは、受付にて行います。

●トランジションバッグ引渡し

・レースナンバー ・バイクシール・ヘルメットシール・Tシャツ

・仮入園券

・スイムキャップ ・大会プログラム・各種記念品

・IDカード

※前日受付はありません。

《注意》

・渋滞による遅刻にご注意ください。

・西立川口・立川口以外で入場した場合は、自己負担となります。

・応援者は別途入場料が必要です。(最終ページ料金表参照)

・駐車場から会場までは遠いことを念頭に行動してください。

(西立川口から徒歩約10分、立川口から徒歩約20分)

・駐車場は西立川口が最も近い駐車場になります。(満車の場合は立川口)

・園内はサイクリングロード以外はバイクの乗車は禁止です。

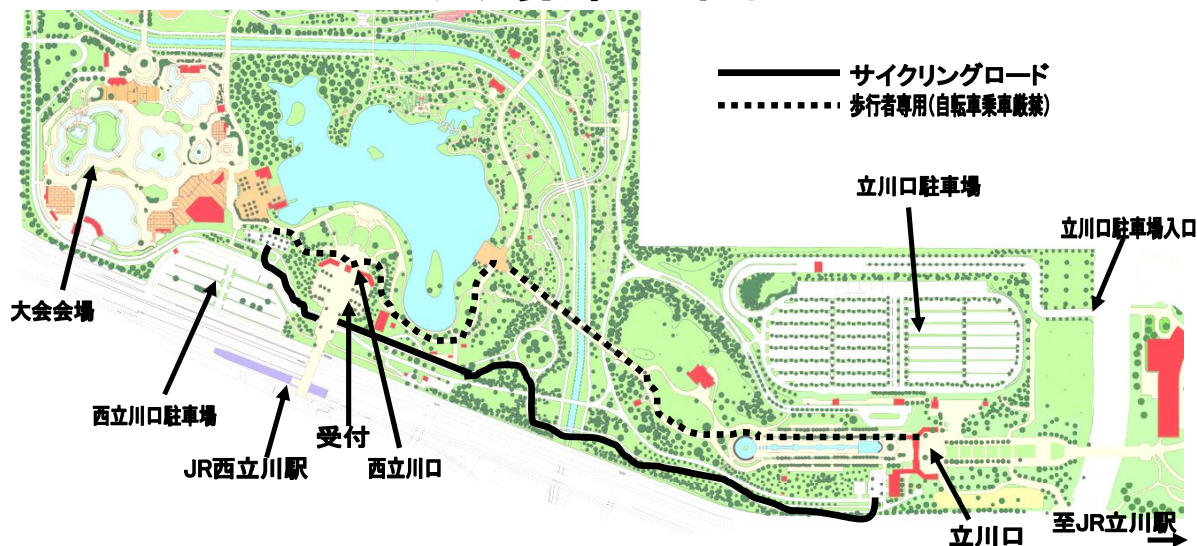
必ず歩いて(自転車は押して)移動してください。

・盗難防止のため、ロッカーをご利用ください。(プール更衣室:1回¥100)

(主催者側に荷物を預けることはできません。)

＜受付場所・駐車場＞

会場案内図



<バイクセット>

- レースナンバーを確認の上、指定されたラックヘサドルを掛けてセットしてください。
- 全選手、各自バイクを10:00までに所定位置にセットを完了させてください。レーススタート後は、バイク競技完了まで、バイクトランジットエリア内の立ち入りは一切できません。
- バイクトランジッションエリア内は競技選手以外の立ち入りはできません。止むを得ない場合は係員の指示にしたがってください。
- 最終走者のバイク終了後、トランジットエリアを開放します。

<入水チェック>

- 計測タグをお渡しします。タグは必ず右足首に装着してください。
- 入水チェックは、スイムスタート付近で行います。最終受付で照合を行います。行わない選手は記録が残らないばかりか、競技運営に支障をきたしますので、必ず入水チェックを行ってください。

<スイム>

- 主催者支給のスイムキャップをご着用ください。

<バイク>

- レース中はもちろん、ウォーミングアップ時等バイクに乗車する時は、必ずハードタイプのヘルメットを着用し、ストラップをとめることを義務とします。
- バイクコースの試走はできません。
- サイクルメーター装着を推奨します。
- メカニックサービスはありません。各自整備して大会に臨んでください。

<リレー>

- リレーはアンクルバンド(計測タグ)をタスキ代わりとして使用します。

<計測タグ>

- 計測タグは右足首に装着してください。(スタート前にプールでお渡しします。)
- 競技終了後、リタイア後、必ず本部までご返却ください。高価なものです。紛失すると実費を請求させていただくこととなります。

<エイドステーション>

- ランスタート、ランコース途中、フィニッシュ付近に設置します。
「アミノバリュー」(大塚製薬)、「甲斐の名水」(日東紅茶)をご提供します。
- エイドステーションを十分に活用してください。

<リタイア>

- 大会において選手の安全の確保は最も優先する事項です。万一レース前やレース中に体調がすぐれない場合は「勇気あるリタイア」も選択のひとつです。安全に楽しくレースを行ってください。
- リタイアする場合、必ず近くのスタッフに「リタイア」する旨と「レースナンバー」を報告し、計測タグを本部までお持ちください。

<その他>

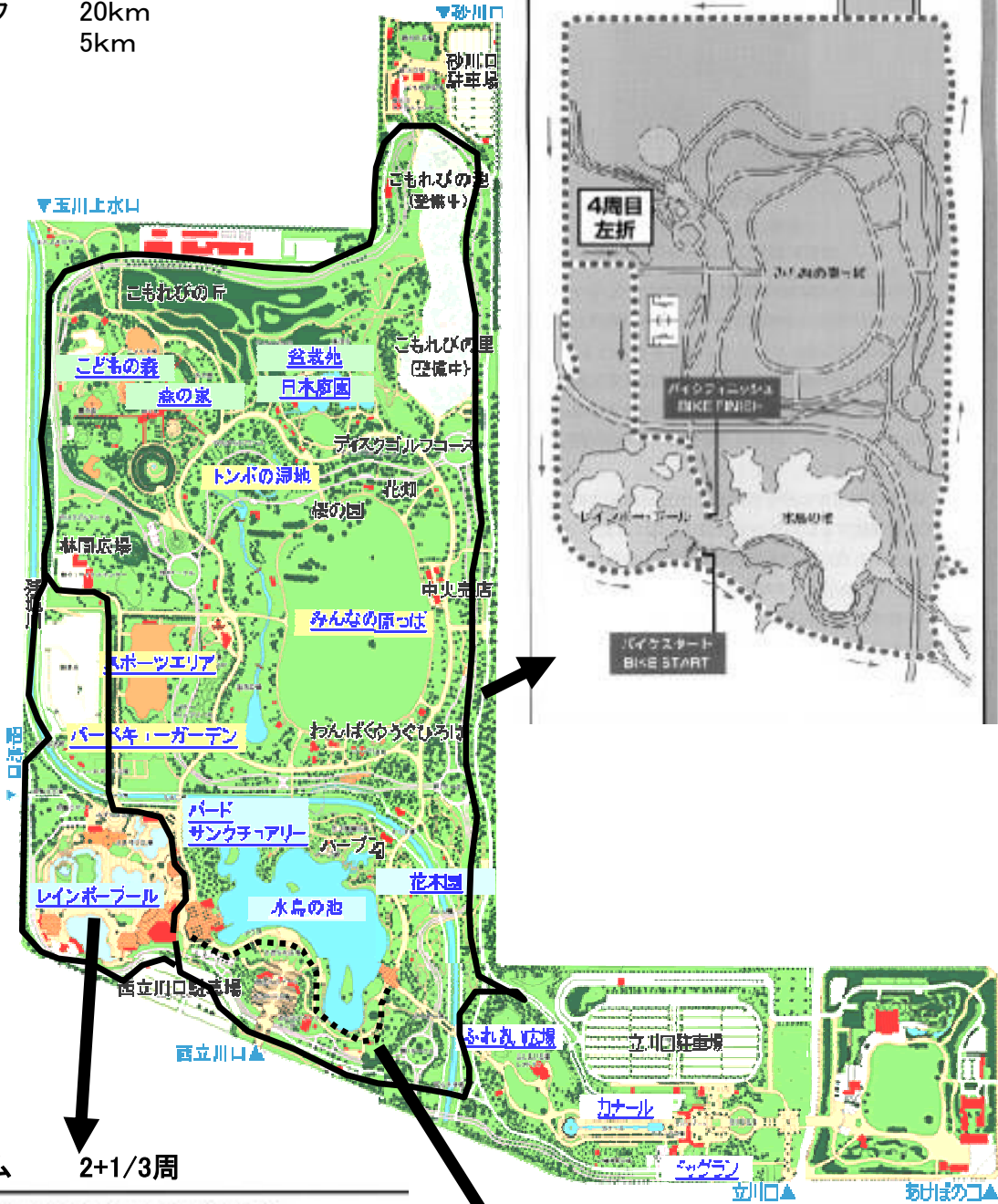
- 厳しい残暑が予想されます。前日から十分な水分補給をしてください。
- ラン競技中の帽子の着用を推奨します。
- バイク競技中はボトルに十分な水分を用意し、補給しながらレースに臨んでください。
- 公園内はサイクリングロード(前ページ参照)以外で自転車に乗車しての移動は禁止です。(サイクリングロード以外での移動は自転車を押して移動してください。)
- スケジュール変更、ローカルルールの適用追加などがあった場合は、本部に掲示します。
- 大会開催中、変調をきたした選手を見かけた場合は、すぐにお近くのスタッフに声をかけてください。
- ゴミは各自お持ち帰りください。
- 公園に荷物を送ることや事前に預けることはできません。

【コース図】

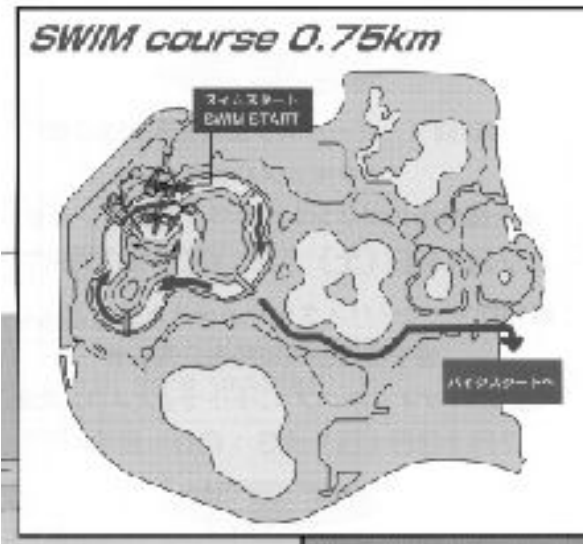
【競技距離】

スイム 0.75km
 バイク 20km
 ラン 5km

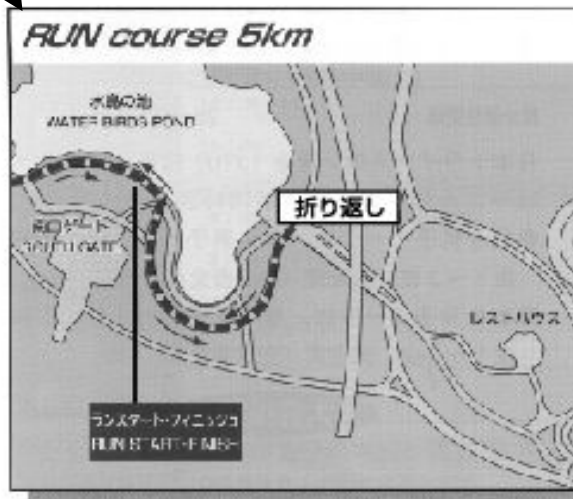
バイク 4周(4周目注意)



スイム 2+1/3周



ラン 4周



【競技ルール】

<競技規則>

日本トライアスロン連合(JTU)競技ルールに準ずる。

<競技内容・制限時間>

- スィム 0.75km ・ バイク 20km ・ ラン 5km
- 原則として制限時間はなし。

<トランジション>

- 用具を交換する、競技コースの一部。エリア内は乗車禁止。ペダル片足走行も禁止。
- ヘルメットのストラップは、ラックからバイクを外す前にしっかりと締める。フィニッシュ後は、バイクを掛けてからストラップを外す。
- 前輪の先端が、「乗車ラインを越えてから乗る」「降車ラインを越える前に降りる」。

<スィム>

- プールを2周+1/3周する0.75kmを泳ぐ。
- ウェットスーツは着用してもかまわないが義務ではない。
- 主催者支給のスィムキャップをご着用すること。
- スィム競技を途中棄権する場合、片手をあげてスタッフに「リタイア」の意思表示をする。スタッフの手を借りた時点で失格。

<バイク・ラン>

- レースナンバーは支給された1枚を使用し、「バイクは後」「ランは前」から見えるように付ける。(支給したゴムまたは、各自のナンバーベルトの使用は可。)
(右図参照)



- トランジションエリア内でウェアとレースナンバーを整えてからスタートする。
- ウェアやレースナンバーがめくれあがったまま競技することは禁止。競技をとめて直させることもある。

<バイク>

- 1周5kmx4周する20kmを走行。分岐地点を1~3周目は直進、4周目は左折。(周回ミスは失格となる。サイクルコンピューターの装着を推奨する。)
- バイクシールはサドル下左側のフレーム上部に貼る。
- ヘルメットシールは正面と左横に貼る。**
- 乗車して競技することが基本。押す・持ち上げる・担ぐも許可。後続のじゃまにならないよう注意する。
- 規定のヘルメットを深くかぶり、ストラップをあごにかかるように締める。
- 規制されたコースでも、交通規則を守る。表示板、コーン、大会スタッフの指示に従い競技する。
- 《前方注意・車間距離の確保》は、重要な義務。転倒や急ブレーキ、相手の動きに注意。エアロバーでは、視界が狭まりブレーキが遅れる。
- キープレフト: 左側走行(左端から1m、コース幅の左側1/3以内基準)で競技する。コース右側は追い抜きスペース。
- 追い越しは、後ろを確認し、前走者の右側から。センター寄りの走者には注意を与える。不安があれば「一声掛けて追い越す」と効果的。
- ドラフティング走行・集団走行・併走は禁止。
- 近づきすぎたり並んでいると、ストップアンドゴー・ルール(SGルール)が適用される。「警告シグナル→レースナンバーのコール→ストップ指示」を受けたら、安全確認後、左端に止まる。降車してバイクを両手で持ち上げる。審判の「ゴー」の合図でレースを再開。タイムペナルティーも併用して適用される。

<ドラフティング禁止>

- ドラフティングは、前走者や車の後ろを風よけにして、楽に走ろうとすること。競技者は他競技者からのドラフティング走行違反を拒否することができる。
- ドラフトゾーンは、バイク後輪の最後部を起点に、後方5m、両サイドに各1m、計2mの範囲。追い抜き時間は15秒以内。車からは35m以上離れる。
- 自転車幅は2m以内。エリート、一般とも2台半から3台分の車間距離をあける。
- ドラフトゾーンへ入れるのは、15秒(共通)以内に追越せるとき。そして減速が必要なエイドステーション付近、トランジション出入り口、折り返し地点。

<バイク追越しの決まり>

- 安全に素早く追越せると判断したら、後方確認、右手を挙げ、右側から追越しに入る。
- 追越ししたら、再度後ろを確認。左手で合図し、キープレフト走行に戻る。
- 追越し中は、《追い抜く意志を持って、前進している》ように見えなければいけない。ピタリと接近し、静止しているように見えると、規定タイム内でも警告を受ける。
- 前輪先端が、先行する前輪の先端よりも前に出たときに「追越しした」と見なす。
- 追越しされたら、すぐ抜き返したり、背後に付いてはいけけない。後退しているように見えなければ注意を受ける。15秒以内に後方5mまで下がる。

<ラン>

- 公園内特設コース往復1.25kmx4周する5kmを走行する。
(周回ミスは失格となる。周回チェックで渡す輪ゴムを必ずもらって周回を重ねる。)
- 追越しは前走者の右側から。一声掛けると安心。

<リレー>

- リレーゾーンにて計測タグを渡し、右足首に装着する。
- 各種目のフィニッシュ時に計測をしてから、リレーゾーンにて計測タグを渡す。

<エイドステーション>

- エイドステーションでは、スピードを抑えて補給を受ける。合図してスタッフにお願いする。
- スタッフは、止まって渡し、走らないので、競技者が注意して受け取る。
- エイドステーション以外での支援は禁止。

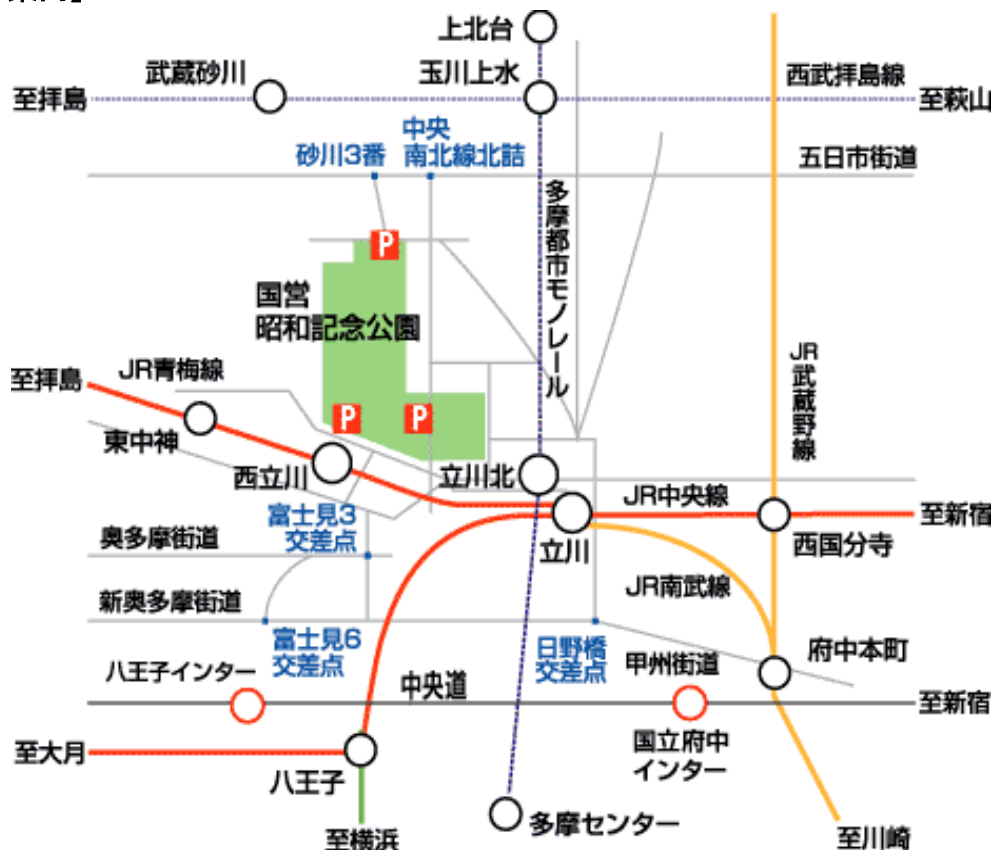
<ペナルティ>

- 違反や危険が予想されるときは、注意(短音の連続/口頭)を受ける。
- 注意に従わないと警告が出る。「警告音:短音2回の連続。イエローカード/フラッグ。レースナンバーのコール」による。
- ドラフティング違反以外でも競技停止指示を受ける。ランやトランジションで「ストップ!」や「手をあげての合図」があったら止まる。指示を受け、再スタート。ボトルの不当投棄やレースナンバーの乱れでも適用される。
- 失格の宣告は、「警告音:長音の連続。レッドカード提示/フラッグを振る。レースナンバーをコールする」のいずれかによる。宣告なしでも失格がありえる。
- 競技中に失格を出されても、状況がよくなれば続けて競技できる。罰則が免除されるものではないが、レース後、審判長に事情説明することができる。
- ペナルティの最終裁定は、審判長が行い、「公式掲示板」で告知する。

<競技内容の変更及び中止>

- 気象状況などにより、大会開催が危険と判断される場合は、大会当日8:00に、主催者より受付にてコース距離などの変更、または中止を決定する。

【交通のご案内】



各地からの所要時間

新宿	一般道利用	約60分
	首都高速・中央道利用	約40分
	JR中央線利用(青梅特快)	約40分 (約30分)
相模大野	JR中央線利用(八王子より)	約15分
川崎・横浜	JR南武線利用(川崎より)	約60分
	JR横浜線快速利用(横浜より)	約70分
所沢	西武線利用(国分寺乗りかえ)	約25分
浦和	JR武蔵野線・中央線利用	約50分

※乗りかえに必要な時間は除く。

各入口と最寄駅までの徒歩時間

あけぼの口	JR中央線・立川駅より約10分 多摩都市モノレール・立川北駅より約8分
立川口	JR中央線・立川駅より約15分 多摩都市モノレール・立川北駅より約13分
西立川口	JR青梅線・西立川駅より約2分
昭島口	JR青梅線・東中神駅より約10分
玉川上水口	西武拝島線・武蔵砂川駅より約25分 (残堀川緑道経由)
砂川口	西武拝島線・武蔵砂川駅より約20分

駐車料金

大型(1回)	1,780円
普通(1回)	820円
原付・自動二輪(1回)	250円

(駐車場)

- ・西立川口が最も近い駐車場になります。(満車の場合は立川口)
- ・西立川口駐車場は8:00、立川口駐車場は9:00開門です。(路上駐車、及び開門前の駐車場待ちの停車はできません。)
- ・駐車場から会場までは遠いことを念頭に行動してください。
(西立川口から徒歩約10分、立川口から徒歩約20分)

入場料

大人	400円
小人(小中学生)	80円

詳しくは、昭和記念公園のホームページをご覧ください

<http://www.showakinenpark.go.jp>